



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2012年（平成24年）2月15日号 No. 1553

目次

■ 2011年のロシア経済と鉱工業生産 —不透明感のなかで4.3%の成長を記録—	1
■ キーパーソン	7
トルクメニスタンでベルディムハメドフ大統領再選／7	
■ トピックス	7
トヨタ、ロシア工場の生産工程を拡充／7	
日野自動車はロシアで氷点下50度試験走行／7	
JVCケンウッドロシア子会社が統合／7	
外食大手のトリドールがロシアへ進出／7	
2011年のロシアICT業界の動き／8	

2011年のロシア経済と鉱工業生産 —不透明感のなかで4.3%の成長を記録—

はじめに

2011年のロシアの主要経済指標が概ね出揃ったので、今回の速報では2011年のロシアの経済実績をいち早くご紹介し、鉱工業生産の指標についてはとくに詳しく取り上げることにする。

* * * * *

ロシアの主要経済指標の推移は、表1に見るとおりである。ロシア連邦国家統計局の発表した速報値によれば、2011年のロシアの国内総生産（GDP）は、現行価格で54兆3,691億ルーブルとなり、インフレを考慮した実質で前年から4.3%成長した。ちなみに、2010年の成長率については4.3%という改訂値が先に発表されており、2011年の成長率も奇しくも前年と同じ数字になった。ギリシャ危機をはじめ、内外で不透明感や悲観論が蔓延するなかで、まずまずの成長率を記録したと言えよう。なお、経済発展省が、季節・カレンダー的要因を排除した月別GDPの推移という指標を発表しているのので、それを図1に示してみた。これを見ても、2011年には年初の若干の落ち込みはあったものの、ほぼ一貫して景気の拡大が続いていたことが確認できる。ただし、年末には失速の兆候が現れているので、今後注視する必要がある。